

- 問1 北海道北端の稚内付近における、夏季の日照時間と周辺の海流の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では5月から6月にかけて日照時間がピークを迎え、全体として夏季の日照時間が長くなる傾向があります。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 季節風を遮る高い山脈の影響でフェーン現象が発生しやすく、暖流のリマン海流の影響で夏季は乾燥した晴天が続く。
 2. 低緯度に位置するため太陽の高度が常に高く、太平洋沿岸を北上する日本海流（黒潮）が湿った空気を運んでいる。
 3. 寒流である千島海流（親潮）の影響で夏季に大規模な濃霧が発生するため、高緯度であっても日照時間は極めて短くなる。
 4. 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。
- 問2 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 世界貿易機関
 2. ユネスコ
 3. 東南アジア諸国連合
 4. 国連児童基金
- 問3 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 国後島
 2. 色丹島
 3. 歯舞群島
 4. 択捉島
- 問4 北海道の冬の自然景観として知られる「流氷」は、シベリア沿岸のアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下してくるものです。北海道を北東・南東・西の3つの海域に分けたとき、この流氷が接岸し、砕氷船による観光が行われることで知られる海域の名称を答えなさい。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 東シナ海
 2. オホーツク海
 3. 太平洋
 4. 日本海
- 問5 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 熱帯
 2. 乾燥帯
 3. 冷帯（亜寒帯）
 4. 温帯
- 問6 北海道の開拓や歴史的背景に関連して、札幌周辺の状況を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 蝦夷と呼ばれた人々が独自の地名を付け、江戸時代に大規模な稲作を行うために石狩平野の扇状地が開発された。
 2. アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。
 3. アイヌ民族の居住区を確保するため、明治政府は石狩平野を聖域として保護し、市街地の開発を禁止した。
 4. 本州からの移住者が開拓使の言葉で新しく命名した地名が定着しており、現在は十勝平野に代わる大規模農地となっている。
- 問7 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。
 2. 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。
 3. 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。
 4. 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。
- 問8 日本国内の農産物統計において、北海道が全国の収穫量の100パーセントを占めており、主に砂糖の原料として利用される農作物はどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. ジャガイモ
 2. さとうきび
 3. ごんやくいも
 4. てんさい
- 問9 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 自給足率の低下
 2. 耕作放棄地の拡大
 3. 農業生産性の向上
 4. 促成栽培の普及
- 問10 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 冬の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。
 2. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。
 3. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
 4. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
- 問11 北海道の釧路周辺における夏の気候について、統計資料では「8月の平均気温が約18度と低く、日照時間も短い」という特徴が示されることがあります。このような気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風「やませ」が、日本海側に低温をもたらすため。
 2. 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。
 3. 冬の季節風が山脈を越えて吹き下ろし、フェーン現象が発生して乾燥するため。
 4. 暖流である日本海流（黒潮）が湿った空気を運び、大量の降雨をもたらすため。
- 問12 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量
 2. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数
 3. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間
 4. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積
- 問13 日本全体の耕地面積のうち約4分の1を占める北海道の農業について、その生産規模を正しく説明したものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い
 2. 広大な土地を活かした付加価値の高い農業により、農業産出額の全国シェアは面積シェアを大きく上回る
 3. 耕地面積は全国の4分の1だが、米の生産に特化しているため農業産出額のシェアは5パーセント未満である
 4. 農業産出額の全国シェアも耕地面積と同様に約25パーセントに達しており、面積相応の収益をあげている
- 問14 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 大和民族
 2. 琉球民族
 3. アイヌ民族
 4. ウィルト民族

答え合わせ・解説

問1	答え 4 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。	北半球では高緯度になるほど、夏季における昼の時間が長くなるという天文学的な特徴があります。そのため、北海道北端の地域では、本州以南と比較して夏季の日照時間が長くなりやすい条件にあります。また、北海道の西側の日本海沿岸には、暖流である対馬海流が北上しており、これが周辺の気候に影響を及ぼしています。太平洋側で夏に濃霧を発生させ、日照時間を減少させる要因となるのは寒流の千島海流（親潮）であり、日本海側の特徴とは異なります。
問2	答え 2 ユネスコ	知床の流水が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問4	答え 2 オホーツク海	冬の北海道の北東部に位置するオホーツク海では、シベリア沿岸から流水が押し寄せます。これは、アムール川から流れ込む淡水の影響で海水の塩分濃度が下がり、氷ができてやすくなるためです。紋別市や網走市などの沿岸都市では、この流水を砕氷船で見学するツアーが冬の重要な観光資源となっています。これに対し、北海道の西側は日本海、南東側は太平洋に面していますが、地理的条件により流水は接岸しません。
問5	答え 3 冷帯（亜寒帯）	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度をを超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問6	答え 2 アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。	北海道の多くの地名は、先住民族であるアイヌ民族の言葉に漢字を当てはめたものです。明治時代に入ると、警備と開拓を兼ねた屯田兵が各地に置かれ、石狩平野の扇状地などを中心に札幌の近代的な街づくりが進められました。江戸時代までは本格的な稲作は行われておらず、明治以降の技術改良によって北限が広がりました。
問7	答え 4 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。	北海道では、広い土地を活用して機械化された大規模農業が行われています。特に小麦の収穫量は全国トップクラスであり、酪農や畜産業も盛んです。
問8	答え 4 てんさい	この農作物は寒さに強いという特性を持っており、日本では冷涼な気候に適した北海道のみで栽培されています。別名「ビート」とも呼ばれ、沖縄県などで栽培されるさとうきびと並んで、日本の砂糖生産における主要な原料となっています。
問9	答え 3 農業生産性の向上	限られた土地からより多くの農産物を得られるようになることは、農業における「生産性の向上」を意味します。北海道では、大規模な農地を活かした機械化や、寒冷な気候に対応した育種技術の確立によって、少ない面積でも効率よく収穫を得る体制が整えられてきました。これは単なる面積の増減ではなく、技術的な進歩を指す重要な概念です。
問10	答え 4 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問11	答え 2 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。	北海道の太平洋沿岸には寒流の千島海流（親潮）が流れています。夏、この冷たい海面上に南からの暖かく湿った空気が流れ込むと、空気が冷やされて大規模な濃霧が発生します。この霧がカーテンのような役割をして太陽の光を遮るため、沿岸部では日照時間が極端に短くなり、気温が上がらない「夏でも涼しい」気候が形成されます。
問12	答え 2 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問13	答え 1 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い	北海道の農業は「広大な農地」という特徴を持っていますが、統計で見ると耕地面積の全国シェア（約25%）に対し、農業産出額の全国シェア（約13.5%）はそれより低くなっています。これは、北海道が広大な土地を必要とする酪農や、大規模な機械化による畑作を主体としているためです。土地を効率的に使うことよりも、一戸あたりの生産量を増やす大規模経営に特化していることが、この数値の差に現れています。
問14	答え 3 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サッ・ポロ・ベツ』に由来しています。